

# 令和2年度学校関係者評価会

令和3年3月10日（水）に、岡山赤十字看護専門学校 第1講義室で令和2年度学校関係者評価会を開催しました。非常勤講師1名、岡山赤十字病院 実習指導委員会委員長1名、保護者代表として1年生5名、2年生5名、3年生1名の皆さまにご参加いただきました。令和2年度の教育の現状と学校自己評価、保護者アンケート結果の説明の後に、和やかな雰囲気  
で活発な意見交換が行われ、1時間半が瞬く間に過ぎていきました。

今年度初めより、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、講師の皆さまや実習施設の協力を得ながら、最大限の効果があるように様々な工夫をし教育活動を継続してまいりました。今回は、保護者の方々と講師、実習施設教育担当者の意見を直接お聞きする貴重な機会となりました。

寮に入っていて詳しい話を日頃していないので、昨日話を聴いてメモしてきました。



入学前課題で娘が読んでいた「看護覚え書き」を自分が看護学生だった時以来久しぶりに読み、環境が大切であると再認識しました。

気になることがあれば、電話していただければと思います。



今年度ZOOMによるオンライン授業に試行錯誤しながら着手し、通常授業と変わりなくパワーポイント等を用いた授業を行いました。学生からも週に1度はリモートにしたいとの意見もあり、教育効果を考えて時間割を調整していきたいと思います。また実習生の行動制限や人数の制限はありましたが、実習施設である岡山赤十字病院のご理解とご協力のもと実習指導者の丁寧な説明と、質問した以上のことを教えていただいたことで、「実習は忙しいが楽しい」と、保護者に話していると伺いました。実習記録やレポートをまとめるにあたり、睡眠時間を削って取り組んでいる姿を見て心配されている方もおられました。実習記録に実践したことを表現することは、学生にとって非常に苦労するところです。経験したことを整理し、次の実践につなげていくためにも大事なことです。今後記録の内容や実習時間の使い方など検討していく課題を見出す機会になりました。

コロナ禍で色々なことを中止した日々がすでに1年以上続いています。家庭でも十分な感染予防策を協力いただいたお話も伺いました。その中で、夢に向かって実習や看護技術の練習に一所懸命取り組む学生たちの姿から、私たちもさらに頑張り支えていきたいと思います。

今回頂いた意見だけでなく、普段から学生の困っていることに目を向け、改善していきながら教育活動していきたいと思います。

学校関係者評価会の結果を受け、学校自己評価結果を、学校広報誌とホームページに掲載し報告させていただく予定としておりますので、ご覧下さい。

